

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第7回）  
議事録

令和元年6月21日  
官邸4階大会議室

【内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標（SDGs）推進本部第7回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

まず、議事1「拡大版SDGsアクションプラン2019」について、古谷内閣官房副長官補から説明をお願いします。

【古谷内閣官房副長官補】

資料1「拡大版SDGsアクションプラン2019」について御説明いたします。

1ページ目を御覧下さい。従来からの3本柱である、①ビジネスと科学技術イノベーション、②地方創生と循環共生型社会、③次世代・女性のエンパワーメントに沿って、新たな取組を進めていきます。今後、来週のG20大阪サミット、8月のTICAD7、9月のSDGサミットの成果も踏まえ、12月の「SDGs実施指針」改訂につなげていきます。

2ページから8ページでは、SDGs主要課題7分野におけるG20議長国日本のリーダーシップのもとでのイニシアティブを新たに策定しました。順に、①質の高いインフラ、②防災、③海洋プラスチックごみ対策、④気候変動・エネルギー、⑤女性のエンパワーメント、⑥保健、⑦教育の各分野です。

9ページ目には、それ以外の主要な取組として、科学技術イノベーション、SDGs経営、持続可能なまちづくり、地域循環共生圏について、今後の方向性を示しました。

10ページ目以降には、実施指針の優先分野に沿った各府省の具体的な取組を掲載しております。

この「拡大版アクションプラン2019」に基づき、SDGsをより一層推進しながら、政府を挙げて12月の「SDGs実施指針」の改訂に取り組んでまいります。以上です。

【内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、御発言のある閣僚のみなさまは、順次お願い致します。

【河野外務大臣】

G20 大阪サミット、TICAD7、SDG サミット等で「人間の安全保障」に基づく日本の取組を発信し、11月のG20外相会合でもしっかりと議論していきます。

日本青年会議所との連携を含め中小企業の取組を促進するとともに、SDGs達成に必要な資金を確保すべく、革新的資金調達に関する国際社会の議論をリードします。

【麻生副総理兼財務大臣】

G20財務大臣・中銀総裁会議では、「質の高いインフラ投資に関するG20原則」をエンドースし、また、UHCファイナンスの重要性等をまとめた共通理解文書へのコミットメントを確認しました。

引き続きSDGs達成に貢献してまいります。

【鈴木国務大臣】

使用済みプラスチックを活用した表彰台の製作や「みんなのメダルプロジェクト」など、東京大会に向けた持続可能性に配慮した取組を通じ、SDGsをより一層推進してまいります。

【石井国土交通大臣】

国土交通省は、本年10月に北海道で開催されるG20観光大臣会合において、観光を通じたSDGsの実現等について議長国として議論をリードするなど、引き続きSDGsの達成に貢献してまいります。

【根本厚生労働大臣】

保健分野では、今年開催するG20保健大臣会合も見据え、関係省庁やWHO等の国際機関と連携しながら各国におけるUHCの推進に積極的に貢献します。

成長・雇用分野では、引き続き働き方改革を着実に推進してまいります。

【世耕経済産業大臣】

G20つくば会合では、貿易投資による社会課題解決の事例を、軽井沢会合では、環境と成長の好循環について、発信しました。

引き続き、SDGs経営ガイドやTCFDガイダンス等で、経営へのSDGsの取込みを促進します。

【原田環境大臣】

環境と成長の好循環に向け、地域でSDGsを実践する地域循環共生圏づくりを推進し

ます。また、先般の G20 大臣会合の議論も踏まえ、海洋プラスチックごみや気候変動など地球規模の環境課題に全力で取り組みます。

#### 【宮腰国務大臣】

先月、食品ロス削減法案が全会一致で成立しました。2030 年までに食品ロス半減を目指し、国民運動として推進します。

革新的資金調達として、「休眠預金等の活用促進」を新たに盛り込みました。グローバルにも発信してまいります。

#### 【平井国務大臣】

内閣府では関係府省と連携して、途上国のロードマップ策定支援、「STI for SDGs プラットフォーム」の構築、ODAと連携した国際共同研究の強化等を推進し、世界のSDGs達成に貢献してまいります。

#### 【吉川農林水産大臣】

G20 新潟農業大臣会合の議題としてSDGsを取り上げ、飢餓の終結や気候変動への対応等に各国が共同で取り組むことを農業大臣宣言に盛り込みました。

今後も持続可能な農林水産業の実現に向けた施策を強力に進めてまいります。

#### 【石田総務大臣】

総務省では、多言語音声翻訳技術等の ICT の社会実装を推進し、デジタル技術の活用によるSDGsの達成に貢献します。

なお、世界共通のSDG指標については、9月のSDGサミットに向け、各省御協力の下、この夏に取りまとめ、公表します。

#### 【柴山文部科学大臣】

関係府省と共に、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指した国内外の次世代の教育の充実、SDGsのための科学技術イノベーション(STI for SDGs)の推進、スポーツ・文化における取組により、SDGsの達成に積極的に貢献します。

#### 【片山国務大臣】

全てのSDGsの実現にはジェンダー平等が不可欠であり、重点方針 2019 の下、女性活躍の取組を加速します。

また、地方創生SDGsの実現に向け、引き続き、未来都市の選定や官民連携を図り、金融面の取組も強化します。

#### 【山下法務大臣】

法務省は、SDGs達成に向けた施策の一つとして、法の支配等をテーマに来年4月に

国連犯罪防止刑事司法会議、いわゆる京都 kongress を開催します。グテーレス国連事務総長からも成功を期待する旨直接伝えられているところ、準備を着実に進めたいと思います。

【内閣官房長官】

他に御発言もないようでしたら、「拡大版SDGsアクションプラン2019」について、本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【内閣官房長官】

ありがとうございます。それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。

【内閣官房長官】

最後に、総理から御発言をお願いします。

【内閣総理大臣】

来週開催するG20大阪サミットにおいては、SDGs主要課題にG20議長国として、イニシアティブを示していくことが重要です。

「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、「人間の安全保障」の理念を国際社会に提示した日本だからこそできる貢献があります。

本日のSDGs推進本部会合においては、具体的な貢献策として、3つのイニシアティブを決定しました。

第一に、災害が激甚化する中、誰もが安心して暮らせるよう、防災先進国として世界の強靱化に貢献します。「仙台防災協力イニシアティブ・フェーズ2」として、少なくとも500万人に対する支援等を実施します。

第二に、感染症の脅威から一人一人を守るため、100万人の命を救う支援を行います。さらに、130万人の子供たちへの予防接種を実施するなどの貢献を行います。

第三に、途上国の子供や若者たちが質の高い教育を受けられるよう、3年間で900万人に対して、イノベーションを活用し、教育支援を行います。

質の高いインフラ、海洋プラスチックごみ、気候変動、女性のエンパワーメント等についても力強く取組を進めていきます。

G20大阪サミットの成果や8月に横浜で開催するTICAD7の成果を踏まえ、9月のSDGサミットで、日本の「SDGsモデル」を国際社会に向け発信します。

12月には、SDGs採択からの過去4年間の取組を総括しつつ、国際社会の取組を踏まえながら、我が国の「SDGs実施指針」を改訂します。

関係閣僚においては、新しい令和の時代にふさわしい実施指針とすべく、改めて各府省の取組を見直すとともに、「SDGsの力強い担い手」としての国内外での取組強化をお願いします。

**【内閣官房長官】**

それでは、以上をもって、SDGs推進本部第7回会合を終了します。

(了)